

令和 6 年度予算案について

～子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市木津川の実現に向けて～

令和 6 年 2 月

木津川市長 谷口 雄一



木津川市

はじめに

令和6年度は、「第2次木津川市総合計画後期基本計画」のスタートに当たり、計画に掲げる7つの基本方針に基づく施策を強力に推進するとともに、「木津川市デジタル田園都市構想総合戦略」による、デジタル技術の活用など新しい技術や時代の流れを力に、木津川市を次のステージへと引き上げる重要な年度となります。

具体的には、子育て支援、ICT教育の拡充・教育環境のさらなる向上、小川内水対策や木津川台駅前線整備の推進、公共施設・インフラの長寿命化など継続した重点施策を推進しつつ、令和6年能登半島地震発生を受け、自走式トイレカーの購入や木造耐震改修事業補助金の拡充など、災害に強いまちづくりの推進、また、脱炭素社会実現に向けた取組みとして、電気自動車の購入や学校等公共施設の照明LED化などの推進、地域活性化の取組として、地域おこし協力隊などの活用、さらには、スマート自治体を目指して、行政手続きのオンライン化の推進など、新規事業にも積極的に取り組むこととしました。

予算規模としては、物価高騰等による行政コストの上昇や、会計年度任用職員人件費と扶助費の大幅な増加によって、当初予算としては、令和4年度に次いで過去2番目の330億円余りとなり、過去最大となる財政調整基金を繰り入れて財源調整を行うなど、非常に厳しい財政状況となっています。

引き続き、ふるさと納税の更なる取組強化や有利な地方債の活用による財源確保と効果的かつ効率的な予算執行に努めるとともに、「第4次木津川市行財政改革大綱」に基づき、計画的に改革を進め、将来にわたり持続可能で最適化された市民サービスを提供していきます。



令和 6 年度木津川市予算案

(単位：千円、%)

会計別		令和 6 年度 当初予算案	令和 5 年度 当初予算案	比較		
				増減額	増減率	
一 般 会 計		33,031,000	31,723,000	1,308,000	4.1	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計		7,021,743	6,998,004	23,739	0.3
	後期高齢者医療特別会計		1,426,826	1,211,292	215,534	17.8
	介護保険特別会計		6,057,979	5,973,852	84,127	1.4
	旧北村旧兔並村旧里村財産区特別会計		390	45,800	△ 45,410	△ 99.1
	旧加茂町財産区特別会計		2,290	3,100	△ 810	△ 26.1
	旧瓶原村財産区特別会計		4,900	11,700	△ 6,800	△ 58.1
	旧当尾村財産区特別会計		1,530	3,200	△ 1,670	△ 52.2
	旧木津町準財産区特別会計		32,767	24,182	8,585	35.5
	水道事業会計	収益の収入（税込み）	1,884,605	1,909,863	△ 25,258	△ 1.3
		収益の支出（税込み）	1,929,858	2,005,252	△ 75,394	△ 3.8
		資本の収入（税込み）	112,753	114,775	△ 2,022	△ 1.8
		資本の支出（税込み）	618,654	690,839	△ 72,185	△ 10.4
	公共下水道事業会計	収益の収入（税込み）	2,577,142	2,453,015	124,127	5.1
		収益の支出（税込み）	2,577,142	2,453,015	124,127	5.1
		資本の収入（税込み）	1,323,659	978,128	345,531	35.3
		資本の支出（税込み）	1,854,798	1,501,654	353,144	23.5
	特別会計小計		21,528,877	20,921,890	606,987	2.9
合 計		54,559,877	52,644,890	1,914,987	3.6	

地震等緊急災害対策（令和6年能登半島地震を受けて）

⑧

■ 自走式トイレカーの購入

3,167万円

- 避難所における衛生環境の向上や平時のイベント等での活用を目的として自走式トイレカーを購入する。
(P30参照)

⑨

■ 木造住宅本格耐震改修事業補助金

1,500万円

- 地震に強いまちづくりを推進するため、昭和56年5月31日までの旧耐震基準により建築された木造住宅の耐震化を図る。令和6年能登半島地震により木造家屋が多数倒壊したことを鑑み、京都府が実施する制度拡充にあわせ、本格耐震改修に係る市の補助上限額引き上げを行い、地震に強いまちづくりを推進する。
(P31参照)

⑩

■ 防災士の養成

319万円

- 350人の防災士養成を目指して、令和6年度では防災士50人を養成するための養成講座を開催する。
(P32参照)

まちの将来像

子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市 木津川

まちづくりの基本方針

基本方針1

ともに「学び」「喜び」「成長し」
未来を生きるこどもを育む
まちづくり

基本方針2

誰もが生き生きと、
生涯元気で暮らせる
まちづくり

基本方針3

一人ひとりが認め合い、
力を発揮できる
まちづくり

基本方針4

人・資源・立地を活かし、
未来を拓く産業の
まちづくり

基本方針5

災害などから市民を守り、
安心・安全に暮らせる
まちづくり

基本方針6

快適で住みよい生活環境と、
豊かな自然に恵まれた
まちづくり

基本方針7

効果的・効率的な行政運営と
市民に開かれた
まちづくり

基本方針 1

ともに「学び」「喜び」「成長し」
未来を生きるこどもを育むまちづくり

A I ドリル（学習支援サービス）導入
クラウド型授業支援アプリ導入予算額
1,178万円

ポイント

A I ドリル（学習支援サービス）導入 405万円

家庭の経済状況によって左右されることなく、質の高い教育を受けられるようにするため、生徒の理解度に合わせ個別最適に学べるよう、公立高校入試の過去問題等が収録されたAIドリルを中学校に導入する。

クラウド型授業支援アプリ導入 773万円

家庭での学習や教育データの蓄積・活用を行うため、児童生徒に様々な切り口の思考や説明能力の向上を支援するクラウド型授業支援アプリを導入する。



クラウド型授業支援アプリ

担当課/担当者

学校教育課 課長 平井 浩美

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1230（直通）

小中学校体育館照明LED化
中学校体育館空調整備予算額
4,095万円

ポイント

小学校体育館照明LED化 1,938万円

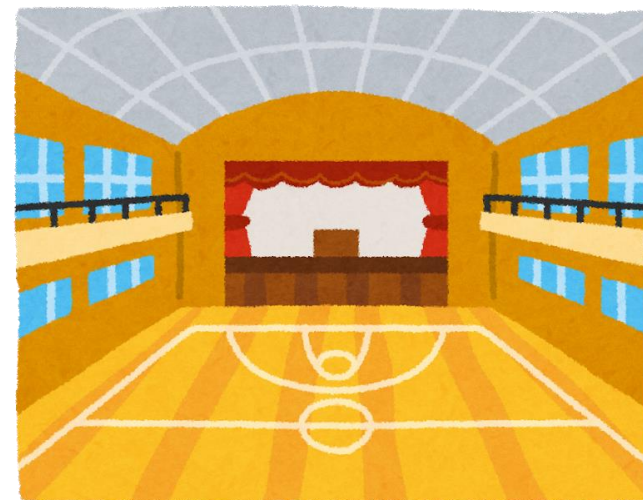
体育館照明を既にLED化している木津川台・加茂・恭仁小学校以外の10校（木津・相楽・高の原・相楽台・梅美台・州見台・城山台・南加茂台・上狛・棚倉）の体育館照明LED化工事設計

中学校体育館空調設備整備及び照明LED化 2,157万円

市立中学校（5校：木津・木津第二・木津南・泉川・山城）の体育館と武道場の空調設備整備及び照明LED化工事設計

○令和6年度：実施設計

○令和7年度：改修工事



担当課/担当者

学校教育課 担当課長 福井 俊英

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1230（直通）

物価高騰対策 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業)

予算額
7,420万円

ポイント

学校給食費物価高騰対策 6,400万円

保護者負担を軽減するため、原油・物価高騰の影響による学校給食食材費高騰分の補助を継続実施する。

(支援額)

幼稚園：1食あたり28円（188円→160円）

小学校：1食あたり41円（281円→240円）

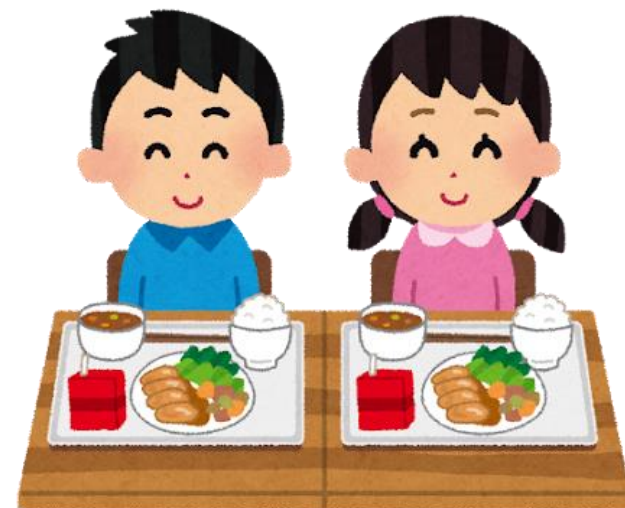
中学校：1食あたり46円（316円→270円）

市内民間保育所等物価高騰対策 1,020万円

市内民間保育所等の利用者及び事業者の負担を軽減するため、副食費の食材費高騰分に対する支援を継続実施する。

(支援額)

1人あたり月額800円



担当課/担当者

学校教育課 課長 平井 浩美 / こども宝課 課長 吉岡 淳

電話 0774-72-0501 (代表)

新

■ 園巡回支援相談員の強化

392万円

- 保育施設、幼稚園等に入所している乳幼児が、身体的・精神的・社会的に健全な成長を遂げることを助ける目的で園巡回相談を実施し、園児の行動観察、保育士や幼稚園教諭との協議を行い、保護者連絡等を実施する。より専門性の高い指導が求められていることから、十分な相談体制を構築するため、新たにスーパーバイザーを配置する。

■ こども遊びイベントの開催

161万円

- 昨年度に引き続き、遊具を活用した「遊び」を通して親子等が交流を育めるイベントを開催する。

- ③ 小学校体育館照明 L E D 化（再掲）** **1,938万円**
- 体育館照明を既に L E D 化している木津川台・加茂・恭仁小学校以外の 10 校（木津・相楽・高の原・相楽台・梅美台・州見台・城山台・南加茂台・上狛・棚倉）の体育館照明 L E D 化工事設計
- ③ 中学校体育館空調設備整備及び照明 L E D 化（再掲）** **2,157万円**
- 市立中学校（5 校：木津・木津第二・木津南・泉川・山城）の体育館と武道場の空調設備整備及び照明 L E D 化工事設計
- ③ 中学校ウォータークーラー設置** **389万円**
- 熱中症対策として設置済みの木津第二・泉川中学校以外の 3 校（木津・木津南・山城）に 2 箇所ずつ冷水器（ウォータークーラー）を設置する。

■ ICT教育の推進

3億8,993万円

- 1人1台端末を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを推進する。

新

■ AIドリル（学習支援サービス）導入（再掲）

405万円

- 家庭の経済状況によって左右されることなく、質の高い教育を受けられるようにするため、生徒の理解度に合わせ個別最適に学べるよう、公立高校入試の過去問題等が収録されたAIドリルを中学校に導入する。

新

■ クラウド型授業支援アプリ導入（再掲）

773万円

- 家庭での学習や教育データの蓄積・活用を行うため、児童生徒に様々な切り口の思考や説明能力の向上を支援するクラウド型授業支援アプリを導入する。

拡

■ テレビ型電子黒板の導入

992万円

- 直感的な操作で教師の授業の幅を広げて児童生徒の理解を深める電子黒板を追加導入する。
※令和5年度に各校1台先行導入

■ 学校給食費物価高騰対策（再掲）

6,400万円

- 保護者負担を軽減するため、原油・物価高騰の影響による学校給食食材費高騰分の補助を継続実施する。

基本方針 2

誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり

ポイント

妊娠期からの切れ目ない支援として、出産後から就学前までの健康診査の実施体制を整備することを目的に、1 か月児健康診査の費用を助成する。

○受診方法
個別健康診査

○健診内容
身体発育状況、栄養状態、身体の異常の早期発見、
こどもの健康状態や育児の相談 等

○助成金額
1 か月児の健康診査費用として保護者が実際に支払った額
※上限4,000円（予定）



担当課/担当者

健康推進課 課長 速見 典子

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1219（直通）

ポイント

がん患者の、薬物療法・放射線治療による脱毛や手術療法による乳房切除など、がん治療に伴う外見の変化に起因する苦痛を軽減するとともに、がんになっても自分らしく生きることのできる社会の実現に向け、がん治療と社会参加の両立を支援し、療養生活の質の向上を図ることを目的に、ウィッグ等の購入に要する費用を助成する。

○助成内容

- ①ウィッグ又は毛付き帽子
- ②乳房補整具（補整下着）
- ③乳房補整具（人工乳房、人工乳頭）
- ※乳房補整具は②又は③のいずれか

○助成額

- ①、②、③の購入に要した費用の1/2
- ※各1回まで

○上限額

- ①2万円
- ②1万円
- ③2万円



担当課/担当者

健康推進課 課長 速見 典子

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1219（直通）

ポイント

外出困難な障がい者の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、福祉タクシー利用券を交付しているが、福祉タクシーを予約できないなど、やむを得ず自家用車での外出が必要となる現状を鑑み、令和6年度からタクシー利用券の一部をガソリン併用利用券として使用できるよう制度拡充を行う。

○拡充内容

タクシー利用券助成額12,000円（最大）のうち2,000円をガソリン利用券との併用を可能とする。



担当課/担当者

社会福祉課 課長 平野 多喜夫

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1211（直通）

- ⑧ 1 か月児への健康診査費用助成（再掲） 284万円**
 - 妊娠期からの切れ目ない支援として、出産後から就学前までの健康診査の実施体制を整備することを目的に、1 か月児健康診査の費用を助成する。
- ⑨ アピアランスケア支援（再掲） 50万円**
 - がん患者の、薬物療法・放射線治療による脱毛や手術療法による乳房切除などがん治療に伴う外見の変化に起因する苦痛を軽減すること等を目的に、ウィッグ等の購入に要する費用を助成する。
- 予防接種事業 3億6,072万円**
 - 乳幼児を対象としたヒブ、肺炎球菌、BCG、ポリオ・四種混合、麻しん風しん、水痘、日本脳炎、児童生徒等の二種混合、ヒトパピローマウイルス感染症等の予防接種を実施。また、インフルエンザや肺炎球菌ワクチンを接種する高齢者に助成を行う。
- 風しん対策追加措置事業（最終年度） 488万円**
 - 風しんの感染拡大を防止するため、令和元年度から令和3年度の3年間、風しん抗体保有率の低い世代（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ）の男性に抗体検査・予防接種を実施したが、全国的に受診率が低かったため、令和4年度から令和6年度まで3年間延長し事業を実施する。

7億9,116万円

■ 福祉医療費助成

【内訳】

➤ 重度心身障害老人健康管理事業	8,241万円
➤ 福祉医療費（障害者）助成事業	1億4,607万円
⑨ うち、精神障害者（児）への医療給付	492万円
➤ 福祉医療費（ひとり親家庭）助成事業	7,338万円
➤ 子育て支援医療費助成事業	4億6,079万円
➤ 老人医療助成事業	2,851万円

市民が安心して医療が受けられるよう、心身障がい者（児）、ひとり親家庭、こども及び高齢者を対象とした福祉医療費を助成する。

※精神障害者（児）への医療給付

令和6年8月診療分から、1級及び2級の一部の方に対し助成する。

④

■ 障害者福祉タクシー等利用券交付（再掲）

594万円

- 福祉タクシーを予約できないなど、やむを得ず自家用車での外出が必要となる現状を鑑み、令和6年度からタクシー利用券の一部（2,000円）をガソリン併用利用券として使用できるよう制度拡充を行う。

④

■ 児童発達支援センター（旧相楽療育教室）

5,626万円

- 令和6年4月に児童発達支援センターを設置し、新たに相談支援事業や保育所等訪問支援事業を実施することにより、障がい児及びその保護者への支援体制を強化、障がい児を預かる施設・教育・保育等との連携の充実により、地域社会への参加、包容の推進を図る。

④

■ 窓口字幕表示システムの導入

94万円

- 外国人住民や聴覚障がい者を含めた多くの市民に、より分かりやすく伝わりやすい窓口を目指して、日本語から外国語への変換や、会話の文字起こしをリアルタイムで行いアクリル板に表示するシステムを導入する。

- ⑧ 中央交流会館改修事業** **2億6,837万円**
➤内装壁・床改修、空調機器・換気設備更新、照明器具LED化等の改修工事を実施する。
- 加茂文化センター・山城総合文化センター
特定天井脱落対策・照明器具LED化等改修事業** **1,309万円**
➤特定天井脱落対策・照明器具LED化等改修に係る実施設計を行う。
- ⑧ 当尾の郷会館・市民スポーツセンターLED化等改修事業** **6,464万円**
➤照明器具LED化等の改修工事を実施する。
- 中央図書館長寿命化改修事業** **1億2,029万円**
➤中央図書館の施設長寿命化(2年目)による受変電設備改修、空調設備更新、照明器具のLED化等の改修工事を実施する。

基本方針 3

一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり

木津人権センターと木津児童館の複合化に向けた 木津人権センター解体工事

予算額
6,207万円

ポイント

木津人権センター及び木津児童館の老朽化に伴い、両施設を一体化し複合施設として整備することにより、施設機能や活動の相乗効果を創出し、より効率的な施設運営を目指す。

令和6年度：木津人権センター解体

令和7年度：複合施設としての新築工事



完成予想図

担当課/担当者

人権推進課 課長 五十嵐 由恵

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1217（直通）

ポイント

若い世代が木津川市に興味を持つためや、木津川市への定着、ふるさと木津川市への想いを醸成するために、市内高等学校生徒、大学生、市内勤務の若者などによる「若者会議」を開催する。

○令和6年2月4日 プレ若者会議開催

午前の部 高校生6人

午後の部 大学生・社会人5人



担当課/担当者

学研企画課 課長 西村 和将

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1201（直通）

■ 木津人権センターと木津児童館の複合化に向けた木津人権センター解体工事（再掲）

6,207万円

- ▶木津人権センター及び木津児童館の老朽化に伴い、両施設を一体化し複合施設として整備することにより、施設機能や活動の相乗効果を創出し、より効率的な施設運営を目指す。

令和6年度：木津人権センター解体

令和7年度：複合施設としての新築工事

⑨ ■ 男女共同参画計画策定業務

387万円

- ▶更なる男女共同参画の取組を推進するため、木津川市男女共同参画後期計画」策定に係るアンケート調査を実施する。（令和7年度策定）

政策分野7 協働

市民参加の推進

⑨ ■ 若者会議の開催（再掲）

44万円

- ▶若い世代が木津川市に興味を持つためや、木津川市への定着、ふるさと木津川市への想いを醸成するために「若者会議」を開催する。

■ 地域活動支援交付金

975万円

- ▶地域コミュニティの必要性を重んじるなかで、魅力ある地域づくりや各種活動を支援する。

基本方針 4

人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり

ポイント

史跡恭仁宮跡の公有化を進めるとともに、特別史跡への昇格に向け、京都府との協働により史跡恭仁宮跡保存活用計画を策定する。



恭仁宮復元図

担当課/担当者

文化財保護課 課長 八田 達男

電話 0774-72-0501 (代表) 0774-75-1232 (直通)

木津川アート プレイベントの開催

予算額
550万円

ポイント

テクノロジー×サイエンス×アートの融合を目指し、木津川市のユニークな企業、研究所、地場産業や教育機関とアーティストによるコラボレーションを展開する「木津川アート」。

令和7年度に開催される大阪・関西万博、けいはんな万博と連動した、「アート×企業」による木津川アート2025プレイベントを開催。

学研都市としての木津川市の魅力を市内外に発信する。



担当課/担当者

観光商工課 課長 西村 文男

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1216（直通）

新

■ 石のカラト古墳緑地内防犯灯LED化事業

2 8 6 万円

➤石のカラト古墳緑地の照明器具LED化改修工事を実施する。

■ 史跡椿井大塚山古墳防災事業

1, 7 5 5 万円

➤令和 3 年度から実施している史跡椿井大塚山古墳防災工事について、前方部で南側など 2 地点とくびれ部付近の 1 地点の計 3 地点において防災施設整備を行う。

■ 史跡恭仁宮跡保存活用計画策定（再掲）

3 7 0 万円

➤平成 1 8 年度に策定した「山城国分寺跡・恭仁宮跡保存管理計画」の内容について、史跡を取り巻く環境の変化や公有化が進んだ史跡地の活用整備構想案の検討、特別史跡昇格のため、見直しが必要となった。そのため、新たな史跡恭仁宮跡保存活用計画の令和 6 年度での策定を目指す。

■ お茶の京都 D M O 協議会負担金

6 2 7 万円

➤お茶の京都 D M O を中心に進められている「やましろ観光」事業と連携・協働し、歴史探訪や自然体験などの広域的な事業への参画を図る。

新

■ 経営発展支援事業補助金

563万円

- 次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組を支援する。

■ 木津かんがい排水事業（営農基盤づくり）

1,838万円

- 施設の長寿命化及び農業用水の安定供給を図るため、機能保全計画に基づき、木津揚水機場及び分水施設の更新を行う。

政策分野 10 関西文化学術研究都市

■ 企業立地促進事業費助成金

1億7,845万円

市内産業用地への企業立地を促進するため、企業立地促進事業助成金を交付する。

【内訳】

- 事業場設置助成金：3,000万円
- 雇用創出助成金：20万円
- 操業支援助成金：1億4,825万円

基本方針 5

災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり

ポイント

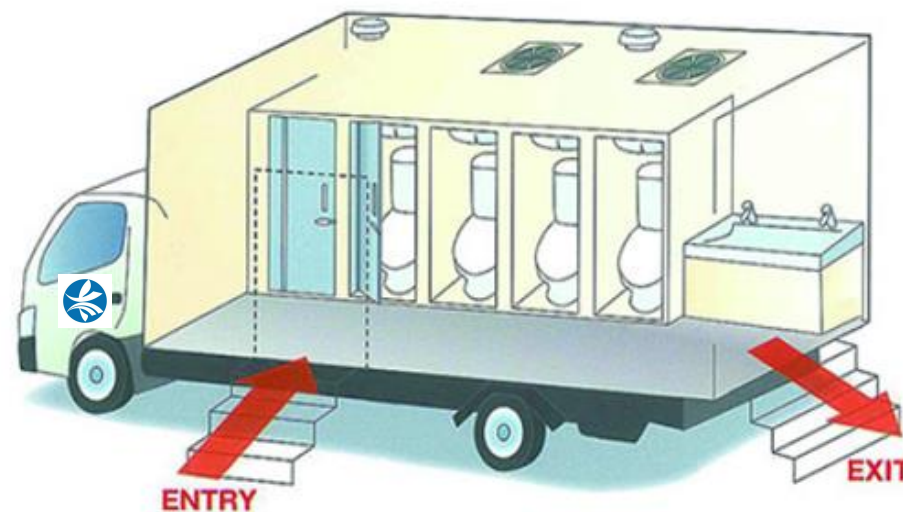
避難所における衛生環境の向上や平時のイベント等での活用を目的として自走式トイレカーを購入する。

○購入予定トイレカー

自走式トイレカー

5部屋仕様（男性用2、女性用2、車いす用1）

準中型免許で運転可能



担当課/担当者

危機管理課 課長 藤田 利彦

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1206（直通）



木造住宅本格耐震改修事業補助金（再掲）

予算額
1,500万円

ポイント

地震に強いまちづくりを推進するため、昭和56年5月31日までの旧耐震基準により建築された木造住宅の耐震化を図る。

令和6年能登半島地震により木造家屋が多数倒壊したことを鑑み、京都府が実施する制度拡充にあわせ、本格耐震改修に係る市の補助上限額引き上げを行い、地震に強いまちづくりを推進する。

○拡充内容
(現行制度)

補助基本額 125万円			
2/5	1/5	1/5	1/5
国	府	市	市民
50万円（上限額）	25万円	25万円	25万円

(拡充後)

補助基本額 175万円			
2/7	2/7	2/7	1/7
国	府	市	市民
50万円（上限額）	50万円	50万円	25万円



担当課/担当者
都市計画課 課長 島川 淳一
電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1222（直通）

ポイント

市民の防災に対する意識の啓発、知識・技能の習得や向上を図るため、地域での防災活動の中核となる人材として防災士を養成する。

○防災士養成講座

市主催の防災士養成講座を実施し、
取得に係る負担軽減を図り、市民の資格取得を促進する。

○目標人数

防災士 3 5 0 人（令和 5 年度末 1 9 1 人を養成）
令和 6 年度 5 0 人



担当課/担当者

危機管理課 課長 藤田 利彦

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1206（直通）

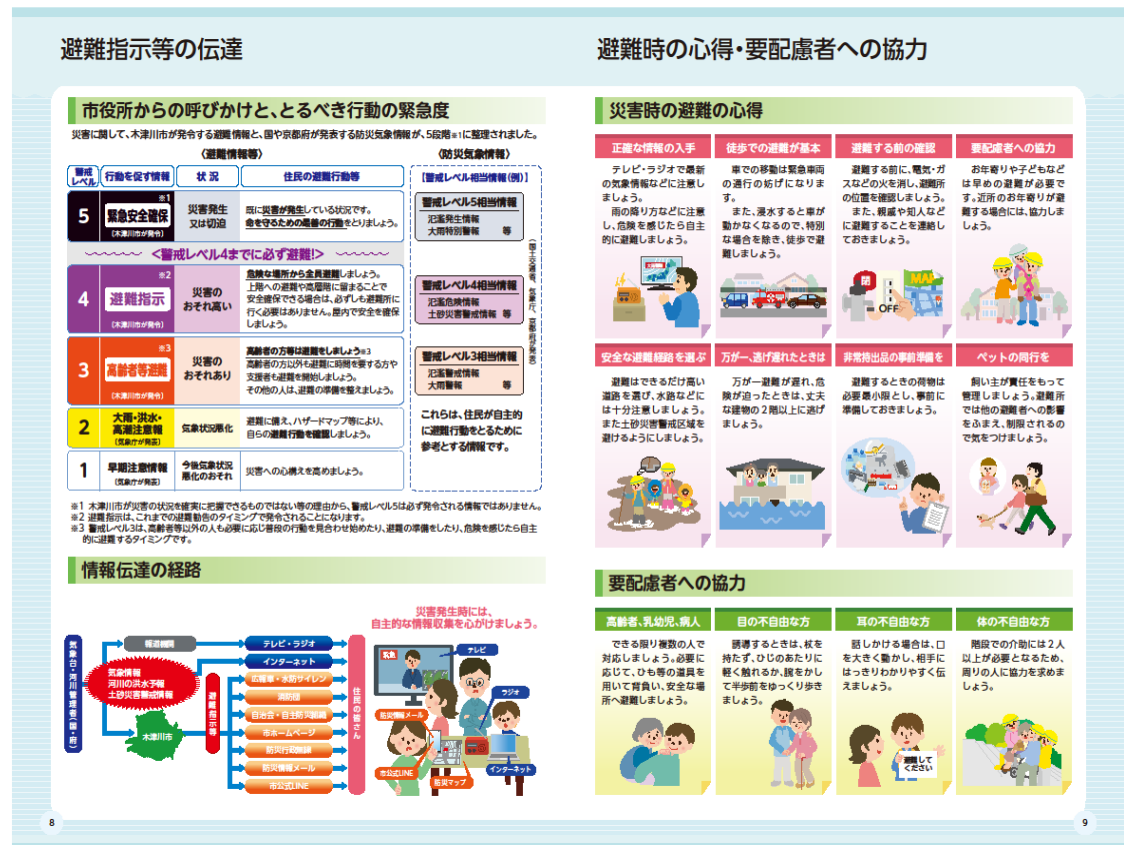
ポイント

自らの命は自ら守るために、
「いつ・どのように行動し、どのような備え
が必要なのか」
の参考となる「木津川市総合防災マップ」を
更新する。

○木津川市総合防災マップの改訂

○地域別ハザードマップの全戸配布

○英語版・ベトナム語版の発行



担当課/担当者

危機管理課 課長 藤田 利彦

電話 0774-72-0501 (代表) 0774-75-1206 (直通)

政策分野 1 1 防災・減災

地震対策などの強化
地域防災力の向上

⑨ ■ 自走式トイレカーの購入（再掲）

3,167万円

➤避難所における衛生環境の向上や平時のイベント等での活用を目的として自走式トイレカーを購入する。

⑩ ■ 木造住宅本格耐震改修事業補助金（再掲）

1,500万円

➤地震に強いまちづくりを推進するため、昭和56年5月31日までの旧耐震基準により建築された木造住宅の耐震化を図る。令和6年能登半島地震により木造家屋が多数倒壊したことを鑑み、京都府が実施する制度拡充にあわせ、本格耐震改修に係る市の補助上限額引き上げを行い、地震に強いまちづくりを推進する。

■ 防災士の養成（再掲）

319万円

➤防災士50人を養成するための防災士養成講座を開催する。

■ 小川内水対策事業

3億6,928万円

➤平成25年及び平成29年の台風により大規模な浸水被害が発生したことから、小川流域の排水ポンプを増設し内水による浸水被害の軽減を図る。

政策分野 1 2 防犯・交通安全

安心・安全なまちの推進

⑪ ■ 加茂小学校通学路等安全対策

2,581万円

➤令和5年度に解体を行った加茂体育館及び体育倉庫跡地の一部について、加茂小学校への通学路及び有事の際の避難路として整備するため、測量設計を行う。

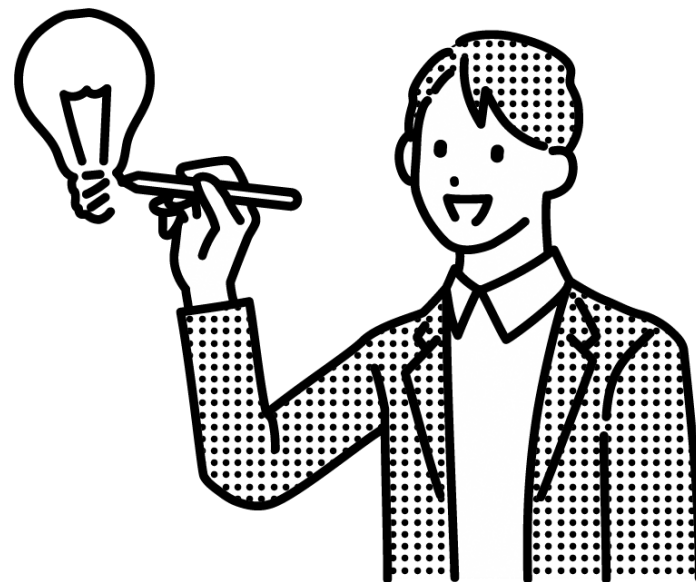
基本方針 6

快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり

ポイント

地域課題解決に向けた取組として、加茂地域に「地域おこし協力隊」を導入するほか、大学生のフィールド活動の場として、現状の課題把握・解決に向けた検討や取組を推進する。

地域おこし協力隊の活動内容の選定や募集要項の作成支援を受けるための業務委託料や、令和6年10月から翌3月までの6か月分の協力隊2人の人件費（会計年度任用職員）や、協力隊活動をサポートするための住宅借上料などを計上。



担当課/担当者

学研企画課 課長 西村 和将

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1201（直通）

ポイント

脱炭素社会の実現に向けた主な取り組み

新	○デコ活普及啓発	195万円
新	○電気自動車の購入	311万円
新	○本庁舎窓遮熱フィルム貼付	605万円
	○小学校体育館照明LED化（再掲）	1,938万円
	○当尾の郷会館・市民スポーツセンターLED化等改修（再掲）	6,464万円
	○石のカラト古墳緑地内防犯灯LED化事業（再掲）	286万円

循環型社会の実現に向けた主な取り組み

新	○雑がみ保管袋及び啓発チラシ作成・各戸配布	279万円
	○古紙回収補助金	1,300万円
	○市民提案型ごみ減量活動等補助金	270万円
	○ごみ収集拠点設置等補助金	144万円



担当課/担当者

まち美化推進課 課長 中谷 美知郎 / 総務課 課長 清水 芳夫
 学校教育課 担当課長 福井 俊英 / 社会教育課 課長 東村 泰嘉
 文化財保護課 課長 八田 達男
 電話 0774-72-0501（代表）

ポイント

野良猫の繁殖を抑制することで、市民の生活環境を保全し、動物の愛護・適正管理を推進するため、市内で捕獲した野良猫に獣医師による不妊・去勢手術を受けさせた市民に対して、手術費用の一部を補助します。また、一体的な対策として超音波式猫除け器を購入し、試用貸出を行います。

○飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等補助金 50万円

※上限5,000円

※3年間の時限措置

○超音波式猫よけ器購入費（5台） 7万円

※試用貸出期間として、2週間程度を想定



担当課/担当者

まち美化推進課 課長 中谷 美知郎

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1215（直通）

⑧ ■ 地域おこし協力隊の活用（再掲）

9 2 2 万円

- ▶地域課題解決に向けた取組として、加茂地域に「地域おこし協力隊」を導入するほか、大学生のフィールド活動の場として現状の課題把握・解決に向けた検討や取組を推進する。
- ▶地域おこし協力隊の活動内容の選定や募集要項の作成支援を受けるための業務委託料や、令和6年10月から翌3月までの6か月分の協力隊2人の人件費（会計年度任用職員）や、協力隊活動をサポートするための住宅借上料などを計上。

■ 市営住宅清水団地建替事業（2棟4戸）

2 億 8 9 3 万円

- ▶令和5年度から着手した市営住宅清水団地の建替工事

政策分野 1 4 交通ネットワーク

広域道路網の整備
地域内生活道路網の整備

■ 城陽井手木津川バイパス地籍調査関連事業

1, 6 3 7 万円

- ▶国道24号城陽井手木津川バイパスの整備に向けた地籍調査として、山城町内において椿井・上粕地区の後期工程を実施する。

■ 山手幹線整備事業

3 2 0 万円

- ▶京都府が施工する山手幹線街路整備事業（精華町植田～木津川市吐師）に対して負担金を支出する。

■ 木津川台駅前線整備事業

2 億 5, 4 6 6 万円

- ▶近鉄木津川台駅からJR片町線、府道八幡木津線を上空で横断し、西側の駐輪場まで歩道橋の設置を行う。

■ 地域公共交通（コミュニティバス）

1億539万円

- 公共施設へのアクセス向上、交通空白地域の解消のため、木津地域、加茂地域、山城地域にコミュニティバスを運行する。

■ J R奈良線高速化・複線化第二期事業負担金

4,519万円

- J R奈良線高速化・複線化第二期事業の負担金（第二期事業の最終年度）
環境アセスメント事後調査や電気設備新設等実施予定

■ J R上狛駅スロープ設置工事

4,412万円

- J R西日本が行う上狛駅の改築工事に合わせ、駅舎入口部分にスロープの整備工事を行う。
※ 2 か年事業の 2 年目

- ⑨ 新 ■ デコ活普及啓発事業（再掲） 1 9 5 万円**
➤環境イベントや小学校4年生向け学習ハンドブックの配布など、地球温暖化対策に関する情報発信を行う。
- ⑨ 新 ■ 電気自動車の購入（再掲） 3 1 1 万円**
➤脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、軽貨物の電気自動車を購入する。
- ⑨ 新 ■ 本庁舎窓遮熱フィルム貼付（再掲） 6 0 5 万円**
➤地球温暖化対策や庁舎の節電を踏まえつつ、庁舎内をより快適な温度とできるよう、庁舎階段等の窓ガラスに遮熱フィルムを貼り付ける。
- 雑がみ保管袋及び啓発チラシ作成・各戸配布（再掲） 2 7 9 万円**
➤循環型社会推進基金の活用として、「雑がみ保管袋」を全世帯に配布し、ごみの減量化と再資源化を推進する。
- ⑨ 新 ■ 猫不妊去勢手術費用助成等（再掲） 5 7 万円**
➤野良猫の繁殖を抑制することで、市民の生活環境を保全し、動物の愛護・適正管理を推進するため、市内で捕獲した野良猫に獣医師による不妊・去勢手術を受けさせた市民に対して、手術費用の一部を補助する。また、一体的な対策として超音波式猫よけ器の試用貸出を行う。

- ⑨ ■ 小学校体育館照明LED化（再掲） 1,938万円
➤体育館照明を既にLED化している木津川台・加茂・恭仁小学校以外の10校（木津・相楽・高の原・相楽台・梅美台・州見台・城山台・南加茂台・上粕・棚倉）の体育館照明LED化工事設計
- ⑨ ■ 中学校体育館空調設備整備及び照明LED化（再掲） 2,157万円
➤市立中学校（5校：木津・木津第二・木津南・泉川・山城）の体育館と武道場の空調設備整備及び照明LED化工事設計
- 当尾の郷会館・市民スポーツセンターLED化等改修事業（再掲） 6,464万円
➤照明器具LED化等の改修工事を実施する。
- ⑨ ■ 石のカラト古墳緑地内防犯灯LED化事業（再掲） 286万円
➤石のカラト古墳緑地の照明器具LED化改修工事を実施する。

基本方針 7

効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり

ポイント

行政手続きのオンライン化 135万円

本人確認が必要な申請及び料金支払いが必要な申請について、
現行のL o G oフォームとは別に新たにL I N E申請を導入し、
行政手続きのオンライン化を推進する。

令和6年度は、住民票の写し（除票含む）、戸籍（附票含む）、
所得証明書、（非）課税証明書、評価/公課証明書、納税/完納証明書の
申請受付を開始する。

※LINEアプリでマイナンバーカードを使って申請から支払いまで完結し、
証明書は郵送で自宅まで届きます。

書かない窓口システムの横展開 1,416万円

令和3年度に導入した「書かない窓口システム」について、
更なる市民サービスの向上のため、市民課以外の5課（国保年金課、
こども宝課、社会福祉課、高齢介護課、学校教育課）へ導入する。

転入時に各課で必要な手続きの他、身体/精神障害者に関する手続き、
児童手当に関する手続き、介護保険に係る諸手続など、市民課含め
全6課の手続きが可能となる。

※全手続きが可能になるものではありません。



担当課/担当者

デジタル戦略室 室長 阿部 一成

電話 0774-72-0501（代表） 0774-75-1201（直通）

ポイント

持続可能な財政基盤の確保を目的として、ふるさと納税返礼品の内容や品質の向上、寄附の使い道の明確化、寄附者の利便性の向上、企業版ふるさと納税の普及啓発に努め、寄附金額の増加を目指す。

○目標金額

個人版ふるさと納税 2億円
企業版ふるさと納税 2,000万円



特選黒毛和牛
お食事券



富有柿



生ブルーベリー



京野菜

担当課/担当者

観光商工課 課長 西村 文男

電話 0774-72-0501 (代表) 0774-75-1216 (直通)

政策分野 1 6 情報

【拡】 ■ 行政手続きのオンライン化（再掲）

1 3 5 万円

➤本人確認が必要な申請及び料金支払いが必要な申請について、現行の L o G o フォームとは別に新たに L I N E 申請を導入し、行政手続きのオンライン化を推進する。

【拡】 ■ 書かない窓口システムの横展開（再掲）

1, 4 1 6 万円

➤令和 3 年度に導入した「書かない窓口システム」について、更なる市民サービスの向上のため、市民課以外の 5 課（国保年金課、こども宝課、社会福祉課、高齢介護課、学校教育課）へ導入する。

政策分野 1 7 行財政運営

【新】 ■ 窓口字幕表示システムの導入（再掲）

9 4 万円

➤外国人住民や聴覚障がい者を含めた多くの市民に、より分かりやすく伝わりやすい窓口を目指して、日本語から外国語への変換や、会話の文字起こしをリアルタイムで行いアクリル板に表示するシステムを導入する。

【拡】 ■ ふるさと納税の取組強化（再掲）

1 億 3 2 0 万円

➤持続可能な財政基盤の確保を目的として、ふるさと納税返礼品の内容や品質の向上、寄附の使い道の明確化、寄附者の利便性の向上、企業版ふるさと納税の普及啓発に努め、寄附金額の増加を目指します。